

橋梁長寿命化修繕設計業務委託（生沢架道橋他 1 橋） 特記仕様書

1 適用

本仕様書は、大磯町（以下「委託者」という。）が実施する橋梁長寿命化修繕設計業務委託（生沢架道橋他 1 橋）（以下「本業務」という。）に適用する。

2 業務の目的

本業務は、大磯町生沢地先の生沢架道橋（橋長 L=47.90m、全幅員 W=8.50m）及び生沢架道橋（旧）（橋長 L=25.60m、全幅員 W=6.65m）を対象に、工事発注に必要となる設計図面及び数量等を作成することを目的として、橋梁補修対策の詳細設計を行うものである。

3 業務の概要

本業務の概要は、次のとおりとする。

(1) 業務名称：橋梁長寿命化修繕設計業務委託（生沢架道橋他 1 橋）

(2) 業務箇所：生沢架道橋（中郡大磯町生沢地内）

生沢架道橋（旧）（中郡大磯町生沢地内）

(3) 業務期間：契約締結の日から令和 8 年 3 月 9 日（月）

(4) 橋梁諸元

ア 生沢架道橋

- ・ 供用開始日：1999 年
- ・ 橋長：47.90m
- ・ 全幅員：8.50m
- ・ 上部工形式：鋼・I 桁（不明）
- ・ 下部工形式：逆 T 式橋台
- ・ 交差物件：小田原厚木道路

イ 生沢架道橋（旧）

- ・ 供用開始日：1964 年
- ・ 橋長：25.60m
- ・ 全幅員：6.65m
- ・ 上部工形式：PC・箱桁橋
- ・ 下部工形式：逆 T 式橋台
- ・ 交差物件：小田原厚木道路

4 業務の内容

4－1 作業項目

本業務の作業項目は、下記表のとおりとする。

項目	単位	数量
設計計画	式	1
補修工設計（上部工、下部工、橋面防水工、高欄・防護柵取替え）	式	1
施工計画	式	1
概算工事費算定	式	1
関係機関協議	式	1
打合せ協議	式	1

4－2 作業内容

本業務の内容は、次のとおりとする。

4－2－1 設計計画

業務実施に際しては、本業務内容を把握し、業務実施のための基本方針・工程計画・作業体制等について検討した上で、業務計画書を作成する。

4－2－2 補修工設計（上部工、下部工、橋面防水工、高欄・防護柵取替え）

(1) 対策工法の検討

令和4年度に実施した橋梁点検結果等を基に、損傷種類や損傷要因別に要因除去を含めた補修工法を検討する。工法の選定に当たっては、構造特性、施工性、経済性、維持管理との整合など総合的な観点から技術的特徴、課題を整理し新技術工法の活用を踏まえた比較一覧表を作成し、選定を行う。

(2) 設計計算

応力計算が必要となる部材等に対しては、必要な設計計算を行う。

(3) 設計図作成

補修工事の発注積算に必要な設計図面を作成する。

(4) 数量計算

数量算出要領に従い、工種ごとに数量計算を行う。

(5) 照査

設計内容について、適切性及び整合性に着目し、照査を行う。

(6) 報告書作成

設計業務の成果として、次の取りまとめ及び提出を行う。

① 報告書（簡易製本） 2部

② 設計図（縮小版） 2部

- ③ 電子データ 2 部
- ④ その他監督職員の指示した資料 1 式

4-2-4 施工計画

施工計画として、工程計画及び施工要領、施工計画図の作成を行う。

4-2-5 概算工事費算定

補修数量及び施工計画を基に概算工事費の算定を行う。

4-2-6 関係機関協議

調査設計に必要な関係機関との協議及び諸手続、資料収集及び協議資料の作成を行う。

4-2-7 打合せ協議

本業務の打合せは、初回、中間（2回）、成果品納品時の計4回行うものとし、初回と成果品納品時は管理技術者が立ち会うものとする。また、疑義が生じた場合や監督職員が要求した場合には、その都度速やかに打合せをするものとする。重要な事項についての指示、承認又は協議の内容を打合せ記録簿に記録し、監督職員、受託者の両者が確認の上、各1部を保管する。

4-3 使用する主な図書及び基準

本業務において使用する主な図書及び基準は、次に示すとおりとする。

- ① 測量・調査・設計業務共通仕様書（（設計業務共通仕様書編）神奈川県県土整備局 令和3年4月）※本文中「神奈川県県土整備局」を「大磯町」に読み替えるものとする。
- ② 道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ（日本道路協会）

4-4 貸与資料

本業務を実施するに当たり、次の資料を貸与する。

- ① 橋梁台帳等（橋梁諸元などの基本データ）
- ② 過去の点検データ（橋梁点検結果等）
- ③ その他

5 疑義

本仕様書又は設計書に記載のない事項及び疑義が生じた事項について、委託者と受託者とが協議の上、決定するものとする。